

- |     |                                                                          |
|-----|--------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 1918年、第一次世界大戦による急激な物価上昇の中で、富山県のどこの層の人々が米の安売りを求めて立ち上がったことがきっかけとなった民衆運動は何？ |
| 問2  | 藩閥政治を批判し、憲政の擁護を掲げて行われた運動を何という？                                           |
| 問3  | 第一次世界大戦の講和会議として開かれ、ドイツの賠償金や国際連盟の設立を決定した1919年の条約を何という？                    |
| 問4  | 大正時代に、一定の納税額という条件をなくし、すべての成人男性に参政権を与えることを求める運動を何という？                     |
| 問5  | 第一次世界大戦後の1919年に、戦後の処理を決めるために開かれた国際会議を何という？                               |
| 問6  | 1922年の全国水平社結成時に中心的な役割を果たした人物は誰？                                          |
| 問7  | 1919年、ベルサイユ条約で日本の山東省権益継承が決まったことに反対して、中国で起こった大規模な反日運動を何という？               |
| 問8  | 吉野作造が唱えた民本主義において、政治は最終的に何を最優先すべきであるとされた？                                 |
| 問9  | 1912年に再び内閣を組織し、民衆から批判を浴びて第一次護憲運動の発端となった長州藩出身の政治家は誰？                      |
| 問10 | 大正デモクラシーの時代、民衆の意思を政治に反映させようとする運動のよりどころとなった、明治時代に制定された根本法典は何？             |
| 問11 | 平塚らいてうが、女性の政治的・社会的権利を確立するために設立した組織は何という？                                 |
| 問12 | すべての民族が自らの政治的立場を自分たちで決定すべきだとする、ウィルソンが掲げた原則を何という？                         |
| 問13 | 大正時代に、主権が誰にあるかに関わらず、民衆の意向を尊重して政治を行うべきだという「民本主義」を提唱した人物は誰？                |
| 問14 | 第一次世界大戦のさなか、戦争による食料不足や困窮を背景にロシアで革命が起こったのは何年？                             |
| 問15 | 第一次世界大戦後に制定され、世界で初めて労働者の権利である「社会権」を明文化した憲法を持つ国はどこ？                       |
| 問16 | ワシントン会議で四力国条約が結ばれたことに伴い、日本とイギリスの間で廃止された同盟を何という？                          |
| 問17 | 第一次世界大戦後に、平和原則として提案された14項目からなる構想を何という？                                   |
| 問18 | 1918年に日本で初めて衆議院の第一党を基盤とした本格的な政党内閣を組織した人物は誰？                              |

## 答え合わせ・解説

|     |                 |                                                                                                                                                                   |
|-----|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え<br>主婦        | 1918年、富山県の漁村に住む主婦たちが、米の積み出しを阻止しようとした行動が報道されると、同様の困窮に苦しむ人々が共感し、米騒動として全国に広がりました。この運動は暴動の形をとり、警察が出動する事態にもなりました。これは民衆が政治に対する不満を直接行動で示した例です。                           |
| 問2  | 答え<br>第一次護憲運動   | 1912年、陸軍が内閣を崩壊させたことに反発し、尾崎行雄や犬養毅らが中心となって「憲政擁護」を訴える運動を開始しました。民衆もこれに共鳴し、大規模なデモが行われました。結果として、藩閥の指導者であった桂太郎の内閣は退陣を余儀なくされ、政党政治の重要性が改めて強調されることとなりました。                   |
| 問3  | 答え<br>ベルサイユ条約   | 1919年にフランスのベルサイユ宮殿で締結された条約です。ドイツに対し多額の賠償金と領土の割譲を命じたほか、軍備を大幅に制限しました。また、平和を守るための国際機関である「国際連盟」の設立もこの条約で決められました。                                                      |
| 問4  | 答え<br>普通選挙      | 大正デモクラシーの風潮の中で、知識人や民衆は、より広い範囲の国民が政治に参加すべきだと主張しました。吉野作造らが理論を支え、護憲運動などの高まりの中で、ついに1925年に普通選挙法が成立しました。                                                                |
| 問5  | 答え<br>パリ講和会議    | この会議には日本も戦勝国の一つとして参加しました。会議の結果として結ばれたベルサイユ条約によって、日本はドイツが持っていた中国山東省の権益を継承することが国際的に認められました。また、この会議では国際連盟の設立も決定されました。                                                |
| 問6  | 答え<br>西光万吉      | 西光万吉は、1922年に京都市で開かれた全国水平社の結成大会において指導的役割を果たしました。彼が中心となって作成された「水平社宣言」は、被差別の人々が被害者としてではなく、人間として対等な権利を持つことを力強く訴えました。                                                  |
| 問7  | 答え<br>五・四運動     | 1919年5月4日、北京の学生が日本の権益継承に抗議するデモを行い、それが全国的なストライキやボイコット運動へと発展しました。これは中国のナショナリズムを大きく刺激し、近代中国の歴史における重要な転換点となりました。                                                      |
| 問8  | 答え<br>民衆の利益     | 吉野作造は、天皇主権という日本の枠組みの中で、いかに民主的な政治を実現するかを模索しました。その結果、主権の所在を問うよりも、政治を行う目的が「民衆の利益」にかなっているかどうか、そして民衆が政治に影響を与えられるかという点を重視すべきだと説きました。                                    |
| 問9  | 答え<br>桂太郎       | 桂太郎は明治後期から大正初期にかけて計3回内閣を組織しました。3度目の内閣成立時、憲法に基づかない政治姿勢に反対する民衆が激しく反発し、第一次護憲運動が勃発しました。                                                                               |
| 問10 | 答え<br>大日本帝国憲法   | 天皇を国家元首とし、統治権を天皇に帰属させる仕組みを定めていました。しかし、大正時代に入ると、この憲法が定める議会制度などを活用し、民衆の声を政治に届ける「大正デモクラシー」の動きが活発化しました。吉野作造らの論者は、憲法の枠組みの中でも解釈次第で議会政治を発展させられると考えました。                   |
| 問11 | 答え<br>新婦人協会     | 新婦人協会は、女性の政治参加を禁止していた治安警察法第5条の改正や、女性の社会進出を阻む法律の改善を目指しました。平塚らいてうは、市川房枝らと協力して署名運動を行い、政治の場へ女性の声を届けようとしてしました。これは、日本の女性運動が個人的な自己主張の段階から、組織的・政治的な権利要求の段階へ移行したことを示しています。 |
| 問12 | 答え<br>民族自決      | アメリカのウィルソン大統領が十四か条の平和原則の中で提唱しました。力による支配を否定し、各民族が自らの意思で独立や政治形態を選択する権利を認めようとする理念です。                                                                                 |
| 問13 | 答え<br>吉野作造      | 吉野作造は雑誌『中央公論』などで、国家の主権がどこにあるかという形式論よりも、政治の結果が民衆の利益にかなうかどうかの方が重要であると説きました。これを「民本主義」と呼び、普通選挙の実施や政党政治を求める当時の民主化運動に大きな理論的支柱を与えました。                                    |
| 問14 | 答え<br>1917年     | 1917年に、まず皇帝を退位させる革命が起き、その後にレーニン率いる社会主義勢力が権力を握る二段階の革命が進行しました。これにより世界で初めて社会主義政権が誕生し、ロシアの歴史が大きく変わりました。                                                               |
| 問15 | 答え<br>ドイツ       | ドイツのワイマルで制定された憲法は、個人の自由だけでなく、労働者が人間らしく生きるための権利（社会権）を憲法で保障しました。これにより、国家が社会的な弱者を保護し、生存権を保障する考え方が示されました。                                                             |
| 問16 | 答え<br>日英同盟      | この同盟は長らく日本外交の柱でしたが、ワシントン会議でアメリカが日本の力を抑えたいと考えたことや、イギリスがアメリカとの関係を重視したことで、四力国条約の締結を機に1923年までに解消されることとなりました。                                                          |
| 問17 | 答え<br>十四か条の平和原則 | 1918年、アメリカ合衆国のウィルソン大統領は、平和の維持には秘密外交の廃止や軍備縮小、国際的な協調が必要であると、14項目からなる平和の原則を発表しました。この中には、平和のための国際組織の設立や、民族自決の原則が示されています。                                              |
| 問18 | 答え<br>原敬        | 原敬は、衆議院で多数を占めた立憲政友会の総裁として首相に就任しました。華族出身ではなく、平民出身の首相として「平民宰相」と親しまれ、二大政党制の先駆けとなる体制を確立しました。積極的な教育政策やインフラ整備にも取り組みました。                                                 |